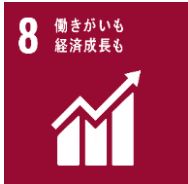


MUFGサステナビリティボンド期中報告（発行日2020年6月9日）

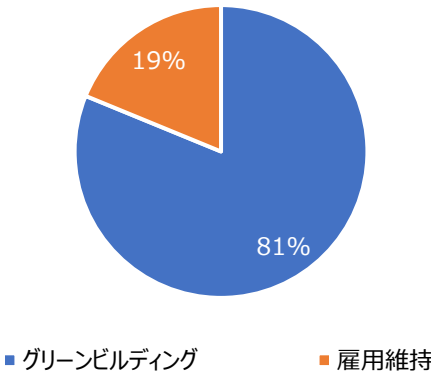
今回充当する適格カテゴリーについて

適格グリーンプロジェクト	
グリーンビルディング 11 住み続けられるまちづくりを 	J-REITが保有するグリーン適格不動産※1に相應する融資 ※1 グリーン適格不動産とは、以下のいずれかを満たすものです。 ・ LEED認証におけるゴールド～プラチナ評価物件 ・ BREEAM認証におけるExcellent～Outstanding評価物件 ・ CASBEE不動産認証におけるA～Sランク評価物件 ・ DBJグリーンビルディング認証における4～5つ星評価物件
適格ソーシャルプロジェクト	
雇用維持 8 働きがいも経済成長も 	感染症拡大（COVID-19等）により影響を受けた中小企業および個人事業主を対象とした融資 ターゲットポピュレーション - 中小企業及び個人事業主

資金充当状況について（2024年3月末時点）

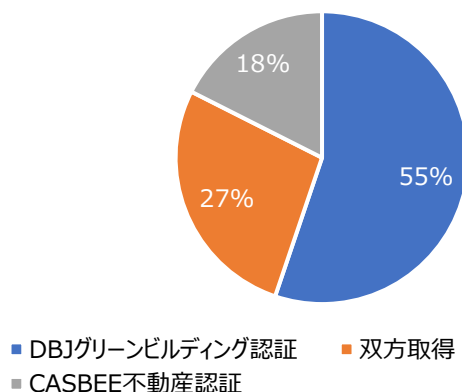
2020年6月発行のMUFGサステナビリティボンドの発行総額500百万ユーロの発行代わり金が充当されている適格グリーン/ソーシャルプロジェクトの残高は663百万米ドルです。カテゴリー別の割合は、グリーンビルディング81%、雇用維持19%です。また、グリーンビルディングの認証別、アセットタイプ別の割合および雇用維持の地域別、業種別の割合は下図の円グラフをご覧ください。なお、米ドル建て残高の算出においては、2024年3月末時点の為替相場を使用しています。

カテゴリー別資金充当状況

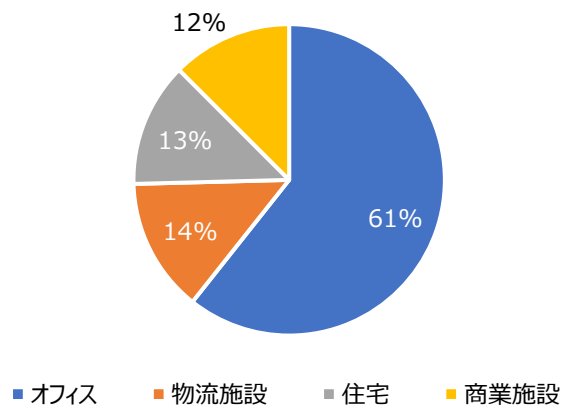


適格グリーンプロジェクト

認証別資金充当状況

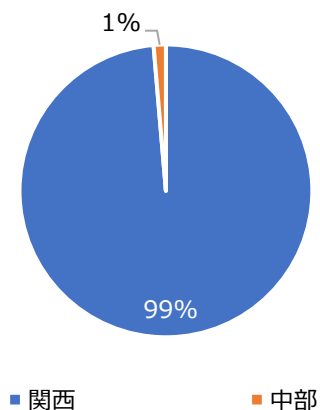


アセットタイプ別資金充当状況

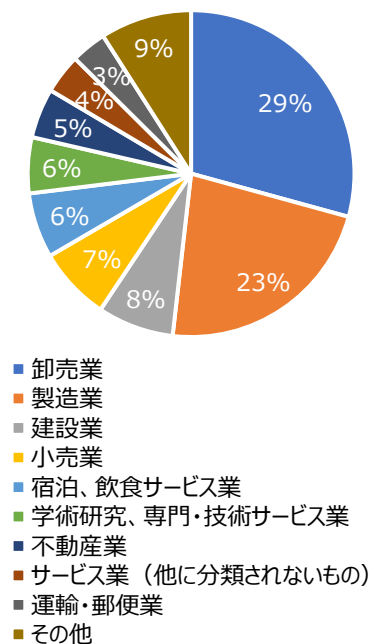


適格ソーシャルプロジェクト

認証別資金充当状況



アセットタイプ別資金充当状況



環境・社会インパクトについて（2024年3月末時点）

2020年6月発行のMUFGサステナビリティボンドの発行代わり金が充当されている適格グリーン/ソーシャルプロジェクトによる環境・社会インパクトは以下の通りです。

環境インパクト（グリーンビルディング）

2020年6月発行のMUFGグリーンボンドの発行代わり金が充当されている適格グリーンプロジェクトによる二酸化炭素削減効果の年間総量は1,783トンです。この数値は適格グリーン不動産を保有するJ-REIT に対する三菱UFJ銀行の融資割合※2を勘案しております。又、各適格グリーン不動産の二酸化炭素排出削減効果は以下の通り算出しております。

二酸化炭素排出削減効果＝適格グリーン不動産における実績二酸化炭素排出量－当該不動産のベンチマーク二酸化炭素排出量

ベンチマーク二酸化炭素排出量＝当該不動産の延べ床面積（m²）× Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (CASBEE) で設定されている延べ床面積当たり一次エネルギー量（MJ/m²）× エネルギー種毎の二酸化炭素排出係数（kg-CO₂/MJ）

※2 当該J-REITの有利子負債総額に対するMUFG Bankローンの残高の割合

二酸化炭素排出削減効果（t-CO₂/年）

オフィス	住宅	商業施設	物流	合計
758	430	566	29	1,783

社会インパクト（雇用維持）

雇用維持	感染症拡大（COVID-19等）により影響を受けた 中小企業及び個人事業主を対象とした 融資のファイナンス及びリファイナンス件数	928件
	融資先の雇用者数	16,758人

情報開示について（2021年6月実施）

2020年6月発行のMUFGサステナビリティボンドの資金充当については、オランダSustainalytics社による期中レポートを取得しています。また、当該資金充当状況については、MUFG最高財務責任者（CFO）によるマネジメント・アサーション（経営陣による表明）を実施しています。

（2024年6月現在）